

農畜水産物等の放射性物質検査計画の概要（茨城県）

1 期間 平成30年度 第1四半期（平成30年 4月～ 6月）

2 検査計画概要

分類		品目数	検査頻度	総検体数	検体採取 市町村数 (予定も含む)
出荷前もしくは出荷時に検査を行う食品					
野菜類		10	隔週	14	8
果実類		2	隔週	2	2
きのこ・山菜類		3	月1回以上 (山菜・野生 きのこ類は適 宜)	100	44
畜産物	牛肉, 馬肉, 豚肉, 鶏肉, 鶏卵, 原乳	2	原乳 月1回 牛乳 毎日	6000	44
野生鳥 獣の肉	イノシシ肉	1	適宜	10	1市
穀類		1	週1回	16	12程度
海産魚 種	海産魚種	70~100	週1回	200~250	3海域
	内水面魚種	8~15	週1回	40~60	霞ヶ浦・北浦 他5水系
その他	茶	1	1回	7	7
小計		98~135		6389~ 6459	
市場に流通している食品					
生鮮品又は加工品		10	月2回	24	
計		108~145		6413~ 6483	

農畜水産物等の放射性物質検査計画の概要(茨城県)

茨城県 平成30年度 第1四半期

※	種 類	4月	5月	6月	市町村・対象品目	検査時期	検査方法 (各品目の生産・出荷がある期間に、出荷前検査を行う)
1. 野菜類							
D	非結球葉菜類(ホウレンソウ等)			○	コマツナ・・・常総市	通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を実施する。
	結球葉菜類(キャベツ等)		○	○	キャベツ・・・常総市・結城市	通年	
	果菜類(トマト等)		○	○	メロン・・・茨城県・筑西市、コダマスイカ・・・筑西市・桜川市 ナス・・・結城市、カボチャ・・・古河市・結城市	通年	
	茎菜類(セロリ等)		○	○	ミズナ・・・下妻市、ネギ・・・境町	通年	
	根菜類(ダイコン等)		○		ダイコン・・・結城市、ニンジン・・・古河市	通年	
	多年生の野菜(アスパラガス等)					通年	
	ハーブ類等(セリ等)					通年	
	花蒔類(カリフラワー等)					通年	
	未成熟豆類(エダマメ等)					通年	
2. 果実類							
D	ベリー類(ブルーベリー)			○	ブルーベリー・・・かすみがうら市	通年	各品目の出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
	かんきつ類(ミカン・ユズ)					通年	各品目の出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
	クワ					通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
	カキ					通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
	ウメ			○	笠間市	通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
	ブドウ					通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
	キウイフルーツ					通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
	リンゴ					通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
	ナシ					通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
3. きのこと山菜類							
C	原木きのこ	○	○	○	44市町村	通年	出荷が行われている市町村ごとに実施
A	原木しいたけ	○	○	○	34市町村	通年	出荷が行われている市町村ごとに実施
A	野生きのこ類(チチタケ等)	○	○	○	43市町村	通年	出荷を目的としたものについて、収穫の段階で市町村ごとに実施
	山菜類(タケノコ、こしあぶら、たらのめ等)	○	○	○	44市町村	通年	出荷を目的としたものについて、収穫の段階で市町村ごとに実施
4. 畜産物							
D	乳	○	○	○	笠間市、常総市	通年	クーラーステーション(笠間市、常総市)単位で月に1回程度
	牛肉	○	○	○	全域	通年	全頭検査
	鶏肉、鶏卵、豚肉	-	-	-			
	馬肉	-	-	-			
5. 野生鳥獣の肉							
A	イノシシ肉				石岡市	通年	本県の出荷・検査方針に基づき実施
6. 穀類							
D	麦		○	○	県内農林事務所管内の小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦	通年	出荷がある期間に検査を実施。
	米						
D	ソバ						
D	大豆						
	小豆						
D	落花生						
7. 海産魚種							
C	海産魚介類	○	○	○	県内海域(カレイ類、ソイ・メバル類、クロダイ、その他)	通年	
	内水面魚介類	○	○	○	県内主要湖沼・河川(天然アメリカナマス、天然ウナギ他)	通年	
D	海産魚介類	○	○	○	県内海域(シラス、ヒラメ、イカ・タコ類他)	通年	
	内水面魚介類	○	○	○	県内主要湖沼・河川(シジミ他)	通年	
8. その他							
D	茶		○		大子町、城里町、古河市、常総市、坂東市、八千代町、境町	通年	出荷開始前や出荷盛期等を中心に検査を行う
D	生鮮品又は加工品	○	○	○	全県域	通年	県内事業者が製造した又は県内流域の県外製造の加工食品(飲料水、牛乳、乳児用食品、一般食品)を月2回程度

※ A: 基準値超過が検出されたもの B: 基準値の1/2の超過が検出されたもの
 C: 検査の必要性が指示されているもの D: 各自治体において計画的に実施するもの